

## 「 未来への貢献 」

本単元で育成する資質・能力

求める

考える

やり抜く

## 1 単元について

## (1) 単元設定

様々な社会課題は、今、現代社会において、誰もが唯一の正解を持ち合わせているわけでは無い。生徒一人ひとりが抱く課題を出発点とし、共に考え「生徒の思考になめらかに寄り添い」社会課題をどのように課題の解決に向けて粘り強く試行錯誤を繰り返すことが必要な内容である。単元の中で扱う「社会課題」は多様であり、課題の解決の必要性に気づき、それぞれの問いがつながり合っていることを発見し、広がり、深めることのできると考え、この単元を設定した。

知識を「教える」のではなく、生徒たちの持っている柔軟な考えや感性、未来への漠然とした期待や不安を共有しながら課題設定を行い、社会課題を「自分事」としてとらえ考えられるように自分の生活と結びついた課題や身近な人へのインタビュー活動を入り口とする。次の段階として、持続可能な社会の実現に向けて身近な人や社会の中で活躍する方法・テーマについての専門家にインタビュー形式またはアンケート形式での活動の場を設け、一人一人が課題解決にどのようにかかわっていくかを考え「SDGsの達成を目指して社会に貢献できること」を単元目標とした。

まとめた先に、どのように達成するのか。一人一人が課題解決にどのようにかかわっていくのか考えを持ち行動しようとする態度を育てることのできる単元である。

## (2) 生徒観

地球温暖化、少子高齢化、食糧問題、地域活性化、子供の貧困、災害、ジェンダーなど様々な社会課題について、一人ひとり興味を持っている。問題を断片的に知っているが、それらが多様に相互に関わり合っていることは意識出来ていない。

「個→拡散→構造化→個」の流れを基本とし、まずは個で考え拡散的にみんなで意見を出し合う活動になれている。

## (3) 指導観

指導に当たっては、構造化して活用するために意見を整理する活動を繰り返せるよう、生徒が安心して対話できる場を大切に、生徒の思いや考えを引き出し、学習につないでいくファシリテーターとしての役割を教師が担う。新型コロナウイルスの影響により、校外学習や体験的な学習が制限される中だからこそICT等を活用した活動を行い生徒の思考になめらかに寄り添いながら学習を進める。

個々の抱いた課題は互いにつながり合っており関係していることを発見し、1つの課題を解決するためには、他の課題も解決する必要があることを考え、行動できるようにしたい。

## 2 単元の目標

持続可能な社会の実現に向けて、未来貢献・社会貢献をすることができる。

### 3 単元の評価規準

資質能力	評価の観点	評価規準	本校で育てようとする資質能力の具体
知識及び技能	知識・技能	<p>①持続可能な社会の実現には、そこに存在する多様な問題の解決に向けて人や組織と目的を共有して取り組むことが必要であると理解している。</p> <p>②対象に応じた適切な方法で情報を集め、相手や目的に応じた適切に実施している。</p> <p>③持続可能な環境の実現に関する理解は、そこに関わる人々や組織との関係を探的に学習してきたことの成果であることに気づいている。</p>	求める
思考力, 判断力, 表現力等	思考・判断・表現	<p>①複雑な問題状況の中から課題を発見し設定することができる。</p> <p>②解決の方法や手順を考え、確かな見通しをもって計画を立てている。</p> <p>③異なる情報の共通点や差異点を見つけ、関係や傾向を明らかにしている。</p> <p>④事象を比較したり関連付けたりして、確かな理由や根拠を持っている。</p> <p>⑤相手や目的に応じて効果的な表現をしている。</p> <p>⑥学習を振り返り、自己の成長を自覚し、学習や生活に生かしている。</p>	考える 求める
学びに向かう力, 人間性等	主体的に学びに取り組む態度	<p>①自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている。</p> <p>②異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとしている。</p> <p>③自分の意思で目標に向かって課題の解決に取り組もうとしている。自己の生き方を考え、夢や希望を持ち続けている。</p> <p>④自他の良さを生かしながら協力して問題の解決に取り組もうとしている。</p> <p>⑤実社会や実生活の問題の解決に、自分のこととして取り組もうとしている。</p>	やり抜く

### 4 単元におけるルーブリック

	やり抜く
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意思で目標に向かって課題の解決に取り組もうとしている。自己の生き方を考え、夢や希望を持ち続けている。</li> <li>・実社会や実生活の問題の解決に、自分のこととして取り組もうとしている。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている。</li> <li>・異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとしている。</li> </ul>

## 5 単元の指導計画（全 36 時間）

	探究の過程	学習活動
一 未来を想像して社会課題を見つけよう (14)		未来を想像し,社会課題を見つけよう
	【課題設定1】	○現代的な諸課題について, 課題を出し合う。 ○「未来への貢献」をテーマに学習することを理解し, 自分なりの課題を持つ (3)
	【情報収集1】 【整理・分析1】	○様々なアイデアを出し合い解決法を考え, 関連する情報を収集する。 ・発表シート作成 仮説の設定 ○自分の興味を持った分野やテーマについて, 情報の収集し仮説を設定する。 (8)
	【まとめ・表現1】	○他学年の生徒との意見交流 ・自分の興味を持ったこれから解決すべき課題を明らかにして自分の仮説を説明する。 ○自分の予想との違いやさらなる疑問を共有する。 (3)
二 グループ課題について、未来貢献・社会貢献の提案をしよう。(22)		グループの課題について,未来貢献・社会貢献の提案をしよう。
	【課題設定2】	○個人の課題を基に共通するテーマを持つグループを作る。 ○グループのゴール予想をたてる。 (4)
		5グループ エネルギー・地域活性・人間と動物の共存・食料・etc
	【情報の収集2】 【整理・分析2】	○視点をしぼり, インタビューやアンケートを通して多様な情報を集める。調査活動によって得た情報を課題解決にむけて分析する。 ○多種多様な課題について多面的に考える。(本時) 自分たちが考えた現代的な諸課題の具体例を挙げ, 解決するためにできることを明らかにする。 ○違いを明らかにするために, 事象を比較したり因果関係を推測したりして考える。 (12)
	【まとめ・表現2】	○グループごとに決めた1つのテーマについて, 他のグループに発表する。 ○多種多様な課題について考え, 異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重する。 ○調査活動によって得た情報をもとに, 自分の生き方について考える。 ・グループごとの課題や未来貢献の共通点や相違点を明らかにしたり, つながりをみつけたりする。 (6)

## 6 本時の学習指導について

### (1) 本時の目標

生物の多様性の意義について考え理解し, 自然と人間の共生の在り方に関する地域の課題にどう関わっていくかについて多様な意見を出している。

## (2) 本時の観点別評価規準

事象を比較したり関連付けたりして考えたことを生かし、実社会や実生活の問題の解決に自分のこととして取り組もうとしている。

## (3) 本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意点 (◇)	望ましい姿 (本校で育てようとする資質能力の具体)
導入	1. 本時の課題を確認する。		【やり抜く③】 対話を通して、多様な具体的な意見を出し合う姿。
	「動物と人間の共存」グループの課題について、みんなで考えよう。		
	<b>2. エキスパート活動</b> A 「生態系サービスをお金に換算すると」 人の役に立たない生物は価値がない。保全しなくてもいいのか？ B 「ゴリラとスマホの関係」 人の暮らしが便利になる一方で、生きものたちが、人間のために違法かつ破壊的な開発の犠牲になっている。いいのか？ C 「生物の多様性」 (自然はヒトを必要としないけれど、ヒトは自然を必要とする。) この言葉の意味を説明しなさい。		
	3. ジグソー活動 生物多様性や生態系になぜ価値があるのか。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる生物は、多様性があってこそ生きることができる。人間も同じ生物。</li> <li>・あらゆる生物は、意味があって存在し関係しあっている。関係のバランスが崩れたら、もとに戻すことができない。</li> <li>・どれだけ人間の技術が発展しても、創り出すことのできないことだから。</li> <li>・長い目で見れば、生物多様性を保全することは人類のためになる。</li> </ul>	ジグソーグループは5つのテーマ別に分かれる。(欠席者がいる場合は4グループ)	
<b>4. クロストーク2</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ツキノワグマ問題について、できることから始める必要がある。それでは、できることは何があるのだろうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森の手入れ, 住み分け, 人間が身を守る。</li> <li>・クマ牧場を作る, ある程度の処分は仕方ない。</li> </ul>	T3 は, 生徒の出した意見に関する情報を検索して示す。		
5. 振り返り	自分のテーマとの共通点や関連について考える。		

